

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

手術支援 AI システム(Eureka®)の小児外科手術への応用
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2020年8月1日から2024年7月31日の間に昭和大学病院小児外科で腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の手術を行った患者さんのうち、0~14歳の男児の方
<b>2. 研究目的・方法</b> 近年、医療現場においても人工知能(artificial intelligence: AI)による画像認識の研究が、特に成人領域で増加しています。一方で小児外科領域での報告はいまだ少ないです。「Surgical Vision Eureka®」(以下、Eureka®)は、教育用のツールとして開発された AI システムですが、鏡視下手術の動画から剥離すべき疎な結合組織や微細血管、重要臓器の同定などを術中にリアルタイムに視覚化することが可能となってきました。また既存の手術動画を解析して、後方視的に検討することも可能です。 今回、男児の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術で安静時のヘルニア門周囲の手術動画を「Surgical Vision Eureka®」で解析し、輸精管の検出率を後方視的に検討します。これは小児外科手術における Eureka®の手術ナビゲーション技術について検討することを目的としています。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 6月 30日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 年齢、手術部位、手術支援 AI システムを用いた手術動画での輸精管検出率
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません
<b>6. 研究組織</b> 研究責任者 昭和大学医学部外科学講座小児外科学部門 大澤 俊亮

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学医学部外科学講座小児外科学部門      氏名：大澤 俊亮

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8      電話番号： 03-3784-8789